



2025.8.7

第13回 周南市スマートシティ推進協議会

- ▶ 資料1 今年度の市の取組について
- ▶ 資料2 周南スマートシティデザインラボについて
- ▶ 参考資料

資料1

今年度の市の取組について

令和7年度デジタル関連の市の取組（1／2）

※令和7年度新規・拡充する取組のうち、市民に影響がある取組を抜粋して掲載

運用中：市民や職員がサービスを利用できる状態

着手済：必要な手続等に着手している状態

検討中：事業について検討を行っている状態

分野	取組	概要	状況
暮らし	1 市公式LINEの拡充	市民が自身の関心に応じて情報を自動で受け取れる仕組みと、関心のある分野をメニューから選択できる機能を備えた市公式LINEを拡充する。さらに、メニューから市ホームページへの誘導も行い、必要な詳細情報にスムーズにアクセスできる環境を整える。	着手済
安心安全	2 防災DXの推進	迅速かつ的確な災害情報等を発信し、市民の安全・安心を確保するため、災害情報システムを構築する。	着手済
	3 消防指令システムの更新	災害時の状況把握や消防活動の効率化を図るため、消防指令システムの更新を行う。	着手済
行政	4 キャッシュレス決済窓口の拡充	市民の利便性の向上および現金取扱いに係る窓口業務の効率化を図るため、キャッシュレス窓口の拡充と、それに伴う事務フローの見直しを行う。	着手済
	5 預貯金等電子照会	行政・金融機関双方の負担軽減及び事務処理の効率化のために、預貯金等照会の電子化サービスを利用する。	運用中 R7.4～
	6 クラウド型電子契約サービスの導入	市及び事業者のペーパーレス推進による業務効率化及び経費負担の軽減などを行うため、従来の紙と押印を用いた形式を、電子データおよび電子署名を用いた電子契約サービスに対応できるよう整備する。	一部運用中

令和7年度デジタル関連の市の取組（2／2）

※令和7年度新規・拡充する取組のうち、市民に影響がある取組を抜粋して掲載

運用中：市民や職員がサービスを利用できる状態

着手済：必要な手続等に着手している状態

検討中：事業について検討を行っている状態

分野	取組	概要	状況
観光 交流・ 文化	7 回天記念館の公衆Wi-Fi整備	展示内容をより深く理解してもらうコンテンツへのアクセスを容易にするため、大津島にある回天記念館のWi-Fiを整備する。	運用中 R7.5～
医療・ 福祉	8 音声文字変換タブレット端末機器の窓口設置	窓口にて、音声認識文字変換システムを導入したタブレット端末を導入し、聴覚に障害のある方の窓口対応時のコミュニケーションの円滑化を図る。（実証事業）	着手済
学び・ 子育て	9 子育て支援施策情報発信のサブサイト改修	市ホームページや外部サイトに分散することも・子育てに関する情報をサブサイトに集約するとともに、より分かりやすい情報発信に向けて、整備・改修を行う。	着手済
	10 教育支援センターのICT強化	第三次まちづくり総合計画の推進施策として掲げる「教育支援センターでのICT等を活用した学習支援」が円滑に行えるよう、センターのWi-fi環境の整備など、学校に準じたICT環境整備を行う。	運用中 R7.6～

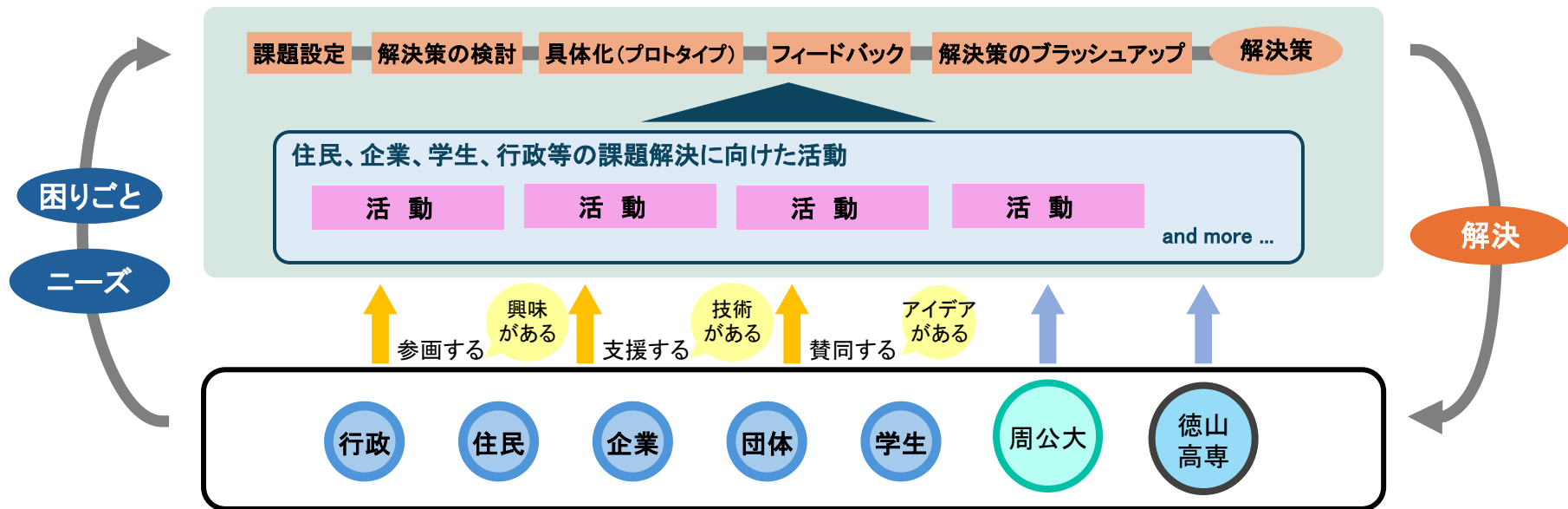
資料2

周南スマートシティデザインラボについて

周南スマートシティデザインラボが目指す姿

この仕組みが目指す姿は、**継続的な課題解決に取り組むためのプラットフォーム**

➡課題を持つ人、アイデアを持つ人、技術を持つ人、動ける人、お金を出せる人などの**多様な主体がオープンな場に集まり、利用者目線で全体を俯瞰しながら課題解決を図るプラットフォーム**



これまでのアプローチ

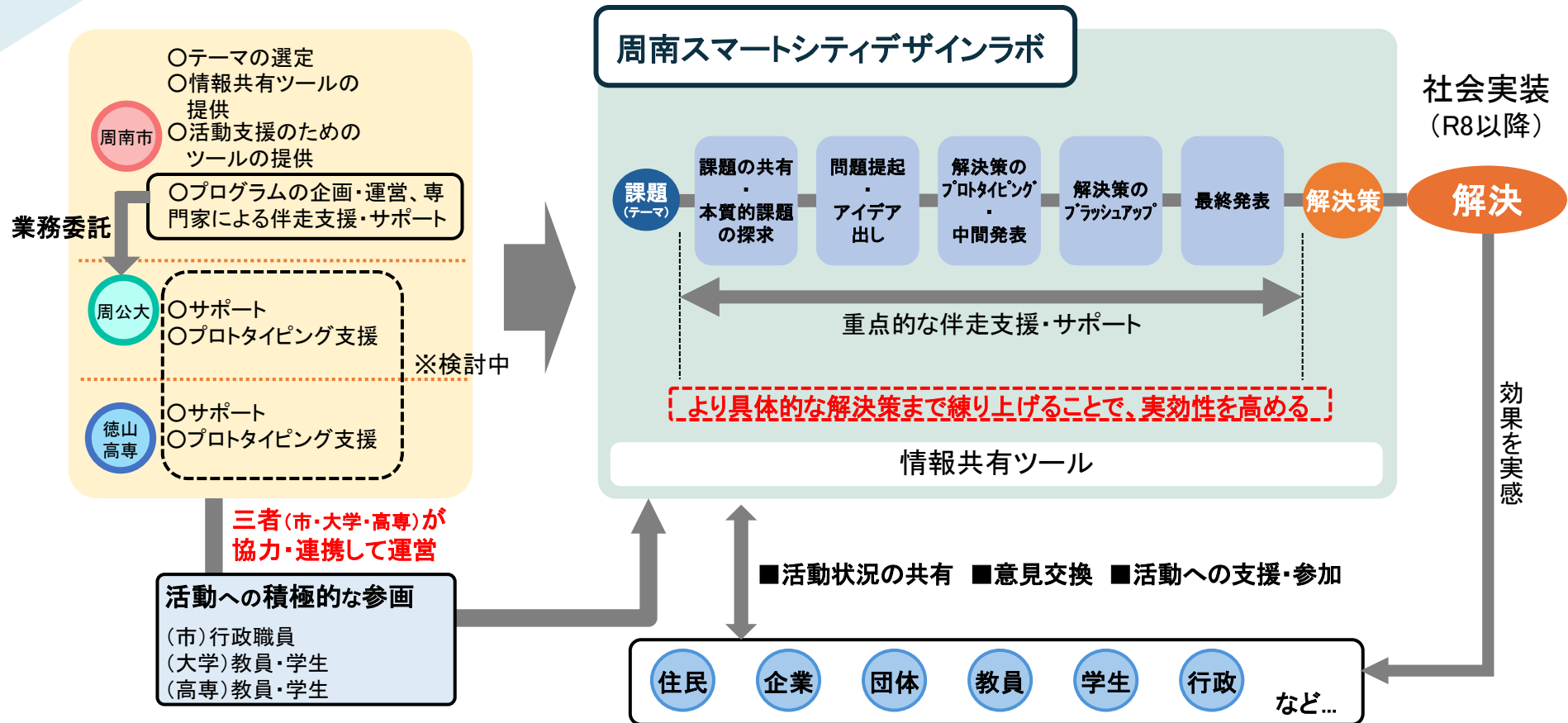
- ▶ 小さくて細かい課題が置き去り
- ▶ 個別最適にとどまり不十分な解決になる

想定される変化

- ▶ 小さくて細かい課題から分野をまたぐ複雑な課題までアプローチ可能になる
- ▶ 課題により適した解決策が得られやすくなる
- ▶ 活動を通して、新しいコミュニティやネットワークが構築される
- ▶ 成功体験を積むことにより、行動変容が起き、自ら考え行動する人が増える
- ▶ まちづくりに参画することで、まちへの愛着等の醸成につながる

周南スマートシティデザインラボの実装(令和7年度)

集中的に伴走支援・サポートを受けられる体制を構築して、**1年間で**課題解決までの一連のサイクルをまわして、**令和8年度以降に社会実装が狙える解像度まで解決策をブラッシュアップ**する。



周南スマートシティデザインラボで取り組み中のテーマ

テーマ	活動主体	概要
旧市長公舎の有効活用	周南公立大学 学生 徳山高等専門学校 学生 事業者 市職員	旧市長公舎は平成31年4月に市長公舎としての行政用途を廃止しており、普通財産として管理している。令和6年度より多くの方に旧市長公舎を知っていただき、親しんでいただくために1日を午前、午後、夜間の時間帯で貸し付ける制度を整えた。旧市長公舎を有効的に活用できる方法を検討したい。
ウォーカブルで憩える 徳山駅周辺	周南公立大学 学生	徳山駅周辺におけるウォーカブルなまちづくり（居心地が良く歩きたくなる空間形成）を実現するための効果的な施策を展開したい。
公園の利活用促進	周南公立大学 学生 事業者 市職員	公園の清掃・除草等の維持管理は、自治会や利用団体により結成された公園愛護会をはじめとする地域の皆さまの協力を得て行われている。しかしながら、少子高齢化や人口の減少、社会情勢の変化の影響もあり、公園の環境保全に携わる担い手が減少しているとともに、利用されない公園が出てきている。

※活動主体のほか、専門的知見を持つ伴走者や周南公立大学経済経営学部地域イノベーションセンターの教員、市職員がサポーターとしてデザインラボに参画しています。

周南スマートシティデザインラボのプログラム日程

公開	6/27 (金) 11:00~17:00	システム思考	チームビルディングを行った上で、各課から課題の現状を共有→システム思考で俯瞰的に捉える
	7/25 (金) 11:00~17:00	デザイン思考	インタビューの結果を活用し、デザイン思考で新たな視点から問題を捉え直し解決策を考える
公開	9/16 (火) 10:00~17:00	プロトタイプ 中間発表会	実行／作成したプロトタイプについて発表し専門家からフィードバックを得る
	12/11 (木) 10:00~17:00	チームワーク	各チームの状況に応じて専門家を交えて最終発表会に向けたブラッシュアップを行う
公開	2/18 (水) 13:00~17:00	最終発表会	各チームからプロセスと成果について発表する。発表後は振り返りを行い来年度以降の計画を練る

※各プログラムのインターバル期間は、各チームで活動。

周南スマートシティデザインラボで検証すること

- 中間発表会、最終発表会で発表された成果は、ユーザーにとっての価値が示され、将来の社会実装や課題解決を見据えた内容になっているか。
- プログラムのプロセスに市民を適時巻き込み、各チームの提案に対してフィードバックいただくことでデザラボへの共感・理解を得ることができたか。
(フィードバックはインタビューなどの質的調査、アンケートなどの量的調査の両側面から得ることを想定)
- デザインラボについて市民に情報発信を行い、ライトな関わりしろをつくることで、市民がデザラボを知る機会を設けることができたか。
- 活動主体の一員として参画したメンバーが、課題を解決したいモチベーションを持ち、自身だけでなく知人の参画を促したいと感じたか。

周南スマートシティデザインラボ 実施状況

第1回プログラム

- 開催日 令和7年6月27日（金）
- 開催場所 徳山駅前賑わい交流施設まちなか共創センター
- 実施内容 テーマ内容の説明
本質的課題の探求（システム思考・デザイン思考を活用）



第2回プログラム

- 開催日 令和7年7月25日（金）
- 開催場所 徳山駅前賑わい交流施設交流室2
- 実施内容 問題提起（インタビューから明らかになった事実をもとに解釈し、
意味づけを行う）
アイデア出し（ブレインストーミングの手法を活用）

周南スマートシティデザインラボInstagramにおいて、活動状況を発信しています。



SHUNAN_SC.DESIGN.LAB

参考資料

令和6年度 GISを活用した安全マップづくり

公開先: 山口県オープンデータカタログサイト

周陽小学校

https://yamaguchi-opendata.jp/ckan/dataset/r6_syuuuyousyou

遠石小学校

https://yamaguchi-opendata.jp/ckan/dataset/r6_toishisyou



※山口県オープンデータカタログサイトのオープンデータマップ

参考資料

地区LINEについて

●令和5年度から令和6年度にかけて、遠石地区および周陽地区で、地域情報の発信・共有のためのツール実証を行った。

●検証結果は、市内各地区コミュニティに対して情報共有予定。

●令和7年度は、運用に係る費用に、
(公財)周南市ふるさと振興財団の助成金
「特色あるコミュニティ活動助成金」を活用可能。

https://furusatoshun.com/?page_id=192

令和7年度 特色あるコミュニティ活動助成金

助成対象期間

令和7年7月1日(火)



令和8年3月31日(火)

の期間に実施する事業

対象団体

周南市コミュニティ推進連絡協議会
に属する団体

助成事業

- コミュニティ事業支援プログラム
- チャレンジ事業支援プログラム
- コミュニティ備品拡充支援プログラム

詳細は内面へ ➡

市民自らが行う地域づくり活動の振興を図るため、周南市の各地区コミュニティ団体が実施する地域課題の解消に結びつく個性あるふるさとづくり事業に対し、その経費の一部を助成することにより、各地区コミュニティ団体への支援を行います。

問い合わせ・申込先

公益財団法人
周南市ふるさと振興財団
助成金担当
〒745-0045 周南市徳山港町1-1
TEL 0834-33-7701
FAX 0834-31-3655
MAIL info@furusatoshun.com

申請に関してご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。